SQS-SE-09-0169

取扱説明書

JQA-QM8678

微酸性電解水噴霧装置(オプション)

SFA-210

R00　2011/3

このたびは微酸性電解水噴霧装置（オプション）を

お買い上げいただき誠にありがとうございます。

ご使用に先立ち、この取扱説明書をよくお読みいただき本製品の性格、

性能を十分ご理解の上、適切な取り扱いと保守をしていただき、

いつまでも安全に能率よくお使いくださるようお願い申し上げます。

なお、この取扱説明書はお手元に大切に保管してください。

ー目次ー

安全に使用していただくために ･････････････････････････ 1-3

ご使用になる前に ･････････････････････････････････････ 4

重要ラベル･･･ 5

各部の名称･･･ 6

仕様 ･･･ 7

SFS への接続 ･･･ 8

接続する･･･ 9

微酸性電解水をつくる ････････････････････････････10-11

使い終わったら ･･･････････････････････････････････････ 12

アラームランプの点灯（専用原液を交換する） ･･････････････ 13

特殊設定･･･ 14

トラブルシューティング ･････････････････････････････････15

定期点検項目 ･･･16

無料修理規定･･･ 17

わからない事や、故障したら ･････････････････････････････18

スーパーエース保証書 ･･･････････････････････････････････19

安全上の注意事項

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。本書では、安全上の注意事項のランクを「警告」「注意」として区別してあります。

⚠ 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

なお ⚠ 注意 に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも重要な内容を記載していますので必ず守ってください。

■絵表示例

一般的な禁止事項　分解禁止	この図記号は禁止（してはいけないこと）を示しています。 ⃠の中に具体的な禁止内容（左図の場合は一般的な禁止事項）が描かれています。 **一般的な禁止は、右の記号で表示します。**
一般的な強制事項　電源プラグを抜く	この図記号は強制（必ずしなければならないこと）を示しています。 ●の中に具体的な指示内容（左図の場合は一般的な強制事項）が描かれています。 **一般的な強制は、右の記号で表示します。**

※お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに、必ず保管してください。

重要警告事項

⚠ 警告

禁止	**カバーは絶対に外さないでください。** 内部には電圧回路があり、誤って触れると感電により、死亡または重傷を負う危険性があります。
強制	**装置から、異音、異臭、発煙、発火が発生したときは、装置をすぐに停止して電源プラグを抜いてください。** 装置から、異臭、異音、発煙、発火が発生したときは、装置をすぐに停止して電源プラグを抜いてください。そしてお買い上げの販売店、または弊社にご連絡ください。万一、火災になった場合は消火器、または水などで消火してください。
	専用原液の取扱いには、十分注意してください。 取扱いの際には、保護眼鏡(保護面)、ゴム手袋、保護衣等を着用し、原液がかからないように注意してください。また、取扱い後は必ず手を洗ってください。 目に入ると、失明や視力低下をおこすおそれがあります。 ・目に入った場合は、目を擦らないで直ちに水道水で１５分間以上洗い流し、医師の診断を受けてください。 飲み込んだり、皮膚に付着したりすると炎症、傷害をおこすおそれがあります。 ・誤って飲んだ場合は、できるだけ多量の水を飲み、直ちに医師の診断を受けてください。 ・皮膚に付着した場合は、直ちに付着部あるいは接触部を多量の水道水で十分に洗い流してください。

接続上の注意事項

⚠ 注意

禁止	**交流１００Ｖ以外の電圧では使用しないでください。** 火災、感電のおそれがあります。
禁止	**濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。** 感電のおそれがあります。
電源プラグを抜く	**電源プラグを抜く時は、必ずプラグを持って抜いてください。** 電源コードを引っ張ると中の芯線が断線したり露出するなど火災、感電のおそれがあります。

安全上の注意事項（つづき）

接続上の注意事項	⚠ 注意
	電源プラグ・コードが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは、絶対に使用しないでください。 火災、感電、ショートのおそれがあります。
	電源プラグ・コードを傷つけたり、加工したりしないでください。 火災、感電、ショートのおそれがあります。 ・折り曲げたり、ねじったりしない。　・熱い所へ近づけない。　・強い力で引っ張らない。 ・釘やステップルで固定しない。　・重い物に挟み込まない。　・高い所から落下させない。
	装置の二次側（微酸性電解水出口側）に流れを邪魔するバルブや絞りを付けないでください。 装置の故障の原因になることがあります。

使用上の注意事項	⚠ 注意
	装置を起動する前に負荷側の安全を確認し、この取扱説明書に従って運転操作を行ってください。 不用意な給電は、感電、事故のおそれがあります。
	装置周辺での喫煙、火気の使用はしないでください。 爆発、破損により、けが、火災のおそれがあります。
	原水は、飲料水基準を満たした水、飲用地下水等を使用してください。 装置の故障や正しい性状の微酸性電解水が生成できないことがあります。また、一部の金属イオンを含んだ水では異物や着色の原因になることがあります。
	原水は、５～３５℃の水を使用してください。 お湯等を使用すると、装置の故障や正しい性状の微酸性電解水が生成できないことがあります。
	原水の水圧は０．０５ＭＰａ～０．２ＭＰａで使用してください。 原水の供給異常により正しい性状の微酸性電解水が生成できないことがあります。
	本装置が対応している原水の硬度は６０mg／Ｌ～１８０mg／Ｌです。 本装置は、原水の硬度が軟水～硬水に対応しています。超軟水・超硬水の場合は、事前に弊社にご相談ください。
	原液は、専用原液以外使用しないでください。 装置の故障や正しい性状の微酸性電解水が生成できないことがあります。
	専用原液の貯蔵、取扱いには十分注意してください。 塩素ガスが発生し、体調を損なうおそれがあります。 ・用途外に使用しないでください。 ・塩素系薬剤と混合しないでください。 ・原液を他の容器に小分けまたは、移し替えて使用しないでください。 ・子どもの手の届く所に置かないでください。 ・使用後の容器は他の用途に使用しないでください。また、空容器は挿入管を付けたまま廃棄してください。 ・直射日光を避け、換気の良い場所に保管してください。 腐食、変質、変色、サビのおそれがあります。 ・誤ってこぼした場合はすみやかに拭取り、水に濡らした布などで良く拭いてください。 ・原液を廃棄する場合は多量の水で薄めながら廃棄してください。
	専用原液のキャップの開閉、本体へのセット時には容器の側面を強く押さないでください。 強い力で押さえると原液が噴出するおそれがあります。
	濡れた手で操作しないでください。 感電のおそれがあります。また、装置の故障の原因になることがあります。

安全上の注意事項（つづき）

使用上の注意事項		⚠ 注意
	❗	**微酸性電解水を生成・使用するときは、換気の良い所で行ってください。** 微量の塩素ガス及び水素ガスが発生し、体調を損なうおそれがあります。
		ステンレス製のシンクで微酸性電解水を生成・使用・排水した後は、水道水をシンクに流してください。 サビ、変色の原因になることがあります。
		金属製容器（鉄・真鋳・アルミ・銅・ステンレスなど）に使用した後は、水道水ですすいでください。 サビ、変色の原因になることがあります。
	🛇	**微酸性電解水は、飲用ではありません。除菌・殺菌以外に使用しないでください。** 体調を損なうおそれがあります。
		生成した微酸性電解水を原水として使用し、再度生成しないでください。また、微酸性電解水を台所用漂白剤などと併用しないでください。 塩素ガスが発生し、体調を損なうおそれがあります。
		子どもに使わせたり、手の届く所に置かないでください。 けがや体調を損なうおそれがあります。
		微酸性電解水を指輪などのアクセサリーにつけないでください。 変色の原因になることがあります。誤ってついた場合は水道水で洗い流してください。
		装置を不安定な場所や高い所に置かないでください。 転倒・落下によりけがをするおそれがあります。
		装置の上に物を乗せたり、衝撃をあたえないでください。 装置の故障の原因になることがあります。
	❗	**本装置は日本国内での使用を目的に製造されています。** 本装置を国外で使用すると、電圧、使用環境などが異なり発煙、発火の原因になることがあります。国外で使用する場合は、事前に弊社に御相談ください。

保守・点検上の注意事項		⚠ 注意
	🛇	**教育を受けたサービスマン以外は、カバーを外さないでください。** 装置の修理、故障部品の交換は、お買い上げの販売店、または弊社営業担当に依頼してください。 カバーを開けると感電、やけどのおそれがあります。
	❗	**本装置の電解槽部は消耗部品です。運転時間が４０００時間を超えたとき、または使用開始から１年を経過したときは、電解槽部の交換が必要になる場合があります。**
	🛇	**装置を水につけたり、水洗いしたり、操作パネルに水をかけたりしないでください。** 火災、感電、ショートのおそれがあります。
	❗	**装置が汚れたときは、電源を切った状態で、からぶきまたは、水を含ませ、よくしぼった布、ティッシュペーパーで拭き取ってください。** 洗剤、シンナー、ベンジン、クレンザー、金属たわし、化学ぞうきん、ナイロンたわし、漂白剤などを使用すると装置の故障の原因になることがあります。

ご使用になる前に

微酸性電解水について。

正式名称：微酸性次亜塩素酸水

●有効塩素濃度：１０～３０mｇ／L
●pH：5～6.5
●原料：希釈塩酸
●食品添加物対応（'02.6.10 官報 第３３７８号）

特長 1 除菌効果に速効性がある。

微酸性電解水には、次亜塩素酸(HOCｌ)が多く含まれているため、細菌・カビ菌・ウィルスなどにすばやい除菌効果を示します。

特長 2 成分がほとんど残留しないため安心。

微酸性電解水は、除菌をすると有効成分は消失し、同時に塩などの残留物が残らないためベタつきを生じる心配がなく、どんな用途にも使うことができます。

特長 3 食品を直接殺菌。

微酸性電解水は、味や臭いがほとんどないので、生野菜や果物、肉、魚介類などの食品の品質をおとすことなく直接殺菌することができます。

特長 4 環境にやさしい。

有機物に触れると普通の水に戻るので、環境に影響をあたえません。また、発がん性物質とされるクロロホルムを生成しないのでとても安全です。

特長 5 使用目的を選ばない。

細菌が原因となるイヤな臭いには、消臭効果を発揮します。また、生成した微酸性電解水を空中に噴霧することにより室内を常にクリーンに保つことができます。

同梱品の確認

① 専用原液（１）

② テストペーパー（１）

③ pH試験紙

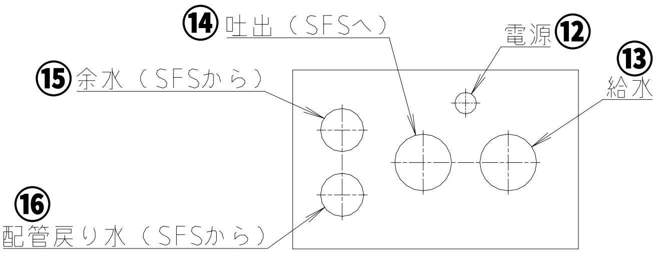
重要ラベル

- 警告表示は常に汚れや破損のないように保ち、もし破損・紛失した場合は、新しい物に張り直してください。
- 安全銘板の購入は、最寄りの販売店にお申し付けください。

①(04000922)

②(04000921)

各部の名称



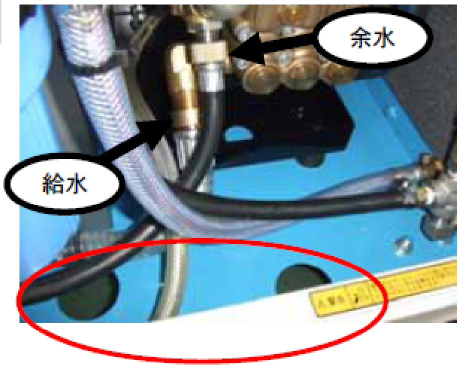
No.	名　称	No.	名　称
1	本体	9	電装ボックス
2	電源ランプ（青）	10	原液
3	生成中ランプ（青）	11	電解装置
4	運転ボタン	12	電源入線口
5	停止ボタン	13	給水ホース（水道蛇口へ）
6	運転ランプ（赤）	14	吐出ホース（SFS へ）
7	アラームランプ（赤）	15	余水ホース（SFS より）
8	漏電遮断機	16	配管戻り水ホース（SFS より）

仕　　様

名称	微酸性電解水噴霧装置
型式	SFA-210 (50Hz/60Hz 共用)
生成水量(L/min)	3.5
使用水道圧 Mpa (kgf/㎠)	0.05～0.2 (0.5～2)
電源電圧（V）	AC100　(50/60Hz)
消費電力（W）	50
寸法　L×W×H(mm)	300×475×800
乾燥質量(kg)	20
装備品	渇水停止装置（ﾌﾛｰﾄｾﾝｻ式） 水道電磁弁 水道量調整ﾎﾞｰﾙﾊﾞﾙﾌﾞ 水道ｽﾄﾚｰﾅ 水ﾀﾝｸ（10L）
付属品	専用原液 2L（主成分：6%希釈塩酸） ﾃｽﾄﾍﾟｰﾊﾟｰ 1 袋 ｐH 試験紙 1 袋
別売品	専用原液 2L×1 本セット （挿入管、ﾃｽﾄﾍﾟｰﾊﾟｰ付）
特記事項	雨天時屋外使用禁止

SFSへの接続

1



SFSの扉を開けます。
SFA本機からのホースを接続します。
（SFA-210の吐出ホース、余水ホース）

ホースをSFS内に引き込む際はベースに有る穴部をご利用下さい。

2

配管戻り水を外します（7のボックスレンチにて緩めてください）
SFA本機からのホースを接続します。
（SFA-210の配管戻り水ホース）
（7のボックスレンチで締めつけて下さい）

ホースをSFS内に引き込む際はベースに有る穴部をご利用下さい。

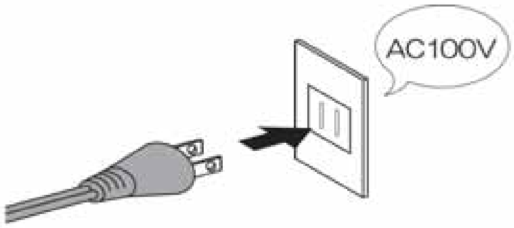
3 SFA-210の運転方法は9～11ページを参照ください。

4 SFA-210より水が供給されますので水漏れがないか確認してください。

接続する

電源プラグをコンセントに差し込む。

電源プラグを差し込み、アース線をつなげる。



電源スイッチを入れると、
電源ランプが青色に点灯します。

※次のような場所には設置しないでください。本品の故障や破損の原因となります。

- 直射日光の当たる場所
- 水や雨に濡れる場所
- 不特定多数の人が容易に手を触れる場所
- 40℃以上になる場所
- 不安定な場所
- 凍結のおそれのある場所
- 油煙の発生する場所
- 火気の近く
- 換気の悪い場所
- ほこりが多い場所
- 湿気が多い場所
- 振動のある場所

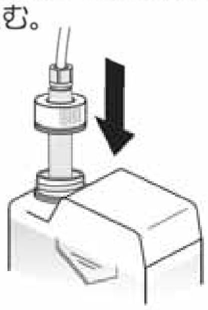
※装置の二次側（微酸性電解水出口側）に流れを邪魔するバルブや絞りを付けないでください。
※チューブの取付けは、水漏れの無いよう注意してください。
※交流100V以外の電圧では使用しないでください。火災、感電のおそれがあります。
※外部との配管接続は、お買い上げの販売店にご相談ください。

微酸性電解水をつくる

1 専用原液をセットする。

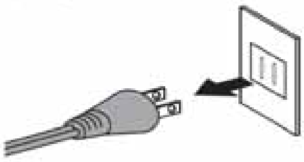
専用原液のキャップを開ける。

専用原液に挿入管を差し込む。



キャップをしっかりと閉める。

原液交換（供給異常ランプ点灯）の際は、必ず電源プラグをはずして装置を一度リセットしてください。



2 水道水を供給する。

元栓（ 水道バルブ ）を開けて、本体に水道水を供給する。

【ご使用条件】

水　圧：0.05MPａ～0.2MPａ
流　量：210L／H以上
硬　度：60mｇ／L～180mｇ／L

（バルブはオプションです）

※挿入管のキャップは、斜めに取付けないでください。
※専用原液の取扱いには十分注意してください。

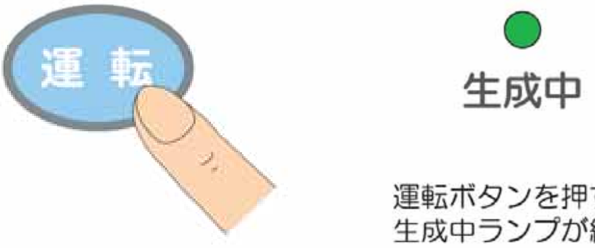
- ・取扱いの際には、原液がかからないように注意してください。また、取扱い後は手を洗ってください。
- ・用途外に使用しないでください。
- ・塩素系薬剤と混合しないでください。
- ・原液を他の容器に小分け又は移し替えて使用しないでください。
- ・使用後の容器は、他の用途に使用しないでください。また、空容器は挿入管を付けたまま廃棄してください。
- ・誤ってこぼした場合はすみやかに拭取り、水に濡らした布などで良く拭いてください。
- ・容器を倒したり傾けたりしないでください。
- ・本品の使用は十分な換気の下で取扱いください。

→2ページ（安全上の注意事項）参照

微酸性電解水をつくる（つづき）

3 運転する。

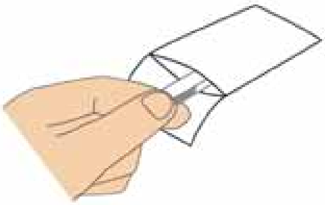
操作パネルの「運転」ボタンを押す。



運転ボタンを押すと、
生成中ランプが緑色に点灯します。

4 水質を確認する。（テストペーパー）

付属のテストペーパーから試験紙を１枚切り離す。

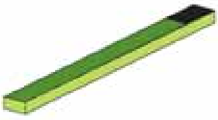


貯水タンク等に溜めた水に試験紙を浸ける。

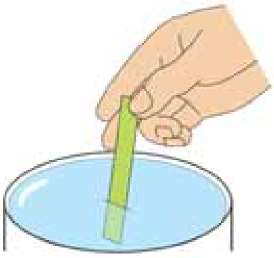
テストペーパーの袋に記載されている色と比較する。

5 水質を確認する。（pH試験紙）

付属のｐＨ試験紙を１枚切り離す。



貯水タンク等に溜めた水に試験紙を浸ける。



試験紙の色が
緑色→緑色 の場合
微酸性電解水の範囲内で正常です。

試験紙の色が
緑色→黄色、橙色 に変化
pH値が低くなっています。
→ ⑬ページへ

※出口用チューブが貯水タンク等に接続されている事を確認してから運転してください。
※貯水タンクの材質は、塩ビ・PE・FRP等の樹脂タンクをご使用ください。
※運転中はトビラを開けないでください。
※テストペーパー、ｐＨ試験紙は、高温、多湿、直射日光を避け保存してください。
※微酸性電解水は、飲用ではありません。除菌・殺菌以外には使用しないでください。

使い終わったら

1 停止する。

操作パネルの「停止」ボタンを押す。

停止ボタンを押すと、
生成中ランプが消灯します。

2 元栓を閉める。

装置が完全に停止したら、元栓（ 水道バルブ ）を閉じて水道水の供給を止める。

※停止後は、電解槽内部の残原液を洗浄します。このとき排出されている水は、微酸性電解水の効果がありません。
※ご使用にならないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
※一週間以上ご使用にならないときは、配管内部に残った原液等を抜くための水洗いをおこなってください。専用原液の代わりに水道水を使用して５分以上運転してください。

アラームランプの点灯（専用原液を交換する）

1 停止する。

操作パネルの「停止」ボタンを押す。

専用原液の残量不足や異常が発生するとアラーム音が鳴り、アラームランプが赤色に点灯します。（※）

停止ボタンを押すと、アラームランプが消灯します。

2 元栓を閉める。

元栓（バルブ）を閉じて、水道水の供給を止める。

3 専用原液を交換する。

・原液を交換して、再度「運転」ボタンを押してください。
【専用原液をセットする】→ 10 ページへ

・原液が多量に残っている場合は、給水異常の可能性があります。
【水道水を供給する】→ 10 ページへ

（上記２つにあてはまらない場合は機器の故障が考えられます。直ちに電源を切り、お買い上げの販売店にご相談ください。）

※アラームの点灯（アラーム音）には、以下の３点の場合があります。

原液切れ　給水異常　装置異常

アラームが点灯したら、「停止」ボタンを押して、それぞれ対応してください。
→ 15 ページ（トラブルシューティング）参照

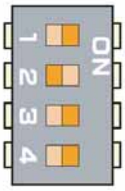
※アラームの点灯後に排出されている水は、微酸性電解水の効果がありません。
※アラームが点灯したら、再度「運転」ボタンを押すまで微酸性電解水は生成されません。
※　　専用原液の取扱いには、十分注意してください。

特殊設定

水質による設定

本製品には、制御盤内部（右側面）に水道水の水質による設定を行えるディップスイッチを設けています。
ディップスイッチは、出荷時に調整されていますが、装置を移設された等、やむを得ず水質設定を変更される場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

初期設定



No.1　「OFF」状態·····ＳＯＦＴ「軟水」
No.2　「ON」 状態·····ＮＯＲＭ「標準」
No.3　「OFF」状態·····ＨＡＲＤ「硬水」
No.4　「OFF」状態·····未使用

※ディップスイッチは、２ヶ所以上同時に「ON」させないでください。
※ディップスイッチは、硬度範囲内でのｐＨ、ＡＣＣ調整です。超硬水、超軟水では使用できません。

トラブルシューティング

こんなときは	考えられる原因	対処法
電源ランプが点灯しない。	電源プラグがコンセントに差し込まれていない。	電源プラグをコンセントに差し込んでください。
運転ボタンを押しても運転しない。	電源プラグがコンセントに差し込まれていない。	電源プラグをコンセントに差し込んで再度「運転ボタン」を押してください。
	外部からの信号が入っている。※	外部信号を優先します。
	供給異常ランプが点灯している。	電源プラグを抜き、装置を一度リセットしてください。
	機器の故障。	お買い上げの販売店にご相談ください。
供給異常ランプが点灯している。（警告音がなっている）	専用原液の残量不足。	原液を交換して、再度運転を開始してください。
	正しい原液がセットされていない。	専用原液をセットして、再度運転を開始してください。
	原水の供給不足。	元栓（バルブ）を確認してください。原水が供給されたら、再度運転を開始してください。
	機器の故障。	お買い上げの販売店にご相談ください。
停止ボタンを押しても停止しない。	外部からの信号が入っている。※	外部信号を優先します。
	機器の故障。	お買い上げの販売店にご相談ください。
本体から水が漏れてきた。	機器の故障。接続部のゆるみ等。	運転を中止して、お買い上げの販売店にご相談ください。
運転中に電源が切れてしまった。	電源プラグを抜いた。	電源プラグをコンセントに差し込み、再度「運転ボタン」を押してください。
	停電になった。	再度「運転ボタン」を押してください。
	機器の故障。	お買い上げの販売店にご相談ください。
テストペーパー、ｐＨ試験紙の指定色（微酸性電解水の範囲内）にならない。	専用原液の不足。	原液を交換してください。
	運転開始直後に測定した。	数十秒置いてから測定してください。
	原水の硬度が60mg／L以下。または、180mg／L以上。	原水の硬度を確認してください。水質の設定を変更される場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
	機器の故障。電解槽の寿命。	お買い上げの販売店にご相談ください。
運転音が気になる。	原液の供給音等。	異常な音がする場合は、電源を切り、お買い上げの販売店にご相談ください。
運転中に塩素臭がする。又は、強い塩素臭がする。	若干の塩素臭は微酸性電解水の水質によるもの。	特に問題はありません。換気を十分におこなってください。強い塩素臭がする場合は、直ちに電源を切り、お買い上げの販売店にご相談ください。
電源が入らない。	漏電遮断器を ON にしていなかった。	漏電遮断器を ON にして下さい。

定期点検項目

点検項目	時間（各時間ごとに実施）				
	作業前	作業中			4000hまたは 1年毎
【機体】					
各部の締付点検	○				
各部の水もれ点検	○				
専用原液がこぼれていないか点検	○				
異常音、異常振動の点検	○				
強い塩素臭がするか点検		○			
ベースとカバー等の損傷、変形の点検	○				
重要ラベル（ＰＬ）の剥がれ、汚れ、破れの点検	○				
【ホース】					
給水ホースおよびパッキンの点検	○				
吐出ホース、カプラおよびパッキンの点検	○				
【配線】					
配線外被の損傷点検	○				
配線結束状態の点検	○				
配線端子のゆるみ点検	○				
【配管】					
中間ホースの点検	○				
【電解水】					
電解水の水質		○			
【電解槽】					
電解槽の交換					●
＊点検の際は必ずスイッチを切（停止）にして、さらに一次側電源を切ってください。					
＊上記の時間は点検の目安であり耐久時間を示したものではありません。					
＊使用条件によっては表記時間より早期の点検が必要となる場合があります。					
＊●は技術や専用の工具を必要としますので、お買い上げ販売店にお申しつけください。					
＊噴霧装置（SFJｼﾘｰｽﾞ）の取扱説明書もあわせてご覧ください。					

無料修理規定

1.保証の内容

製品を構成する純正部品に、材料又は製造上の不都合が生じた場合、この保証書に示す期間と条件に従って、無償修理致します。(以下この無償修理を保証修理といいます。)

保証修理は部品の交換、あるいは補修により行います。また、取り外した不都合部品はスーパー工業㈱の所有となります。

2.保証期間

保証修理の受けられる期間は製品を引き渡した日より起算し、一年間または使用が 1000h に達するまでといたします。

3.保証できない事項

(1) 次に示すものに起因する不具合は保証修理致しません。

① 弊社の「取扱説明書」に示す正しい取扱い操作や日常・定期点検方法・禁止事項・保管方法を守らず、それが原因で生じた故障と認められた場合。
② 弊社が示す使用の限度を越える使用。
③ 弊社が認めていない改造又は変更。
④ 純正部品及び指定している油脂類(潤滑油・燃料油等)以外の使用。
⑤ 経時変化による自然変色発錆。
⑥ 機能上に影響のない単なる感覚的現象(音・振動・外観上の軽微な傷等)
⑦ 天災・地変による損傷。
⑧ 弊社以外で修理され、それが原因で生じた故障と認められた場合。
⑨ アスベストや危険粉塵を含む環境や、放射線に被曝した恐れのある環境等で使用もしくは保管された機械は、修理者の健康を害する恐れがある為、修理はお受けできません。

(2) 次に示すものの費用は負担いたしません。

① 損傷部品を紛失された場合の修理費用。
② 不具合による休業保証・レンタル料・電話代等二次的損失。
③ 下記に示す消耗部品及び油脂類等。
各フィルタエレメント・ランプ・計器類・ノズル・パッキン・ゴムホース・シール等及びこれに類する消耗部品 。

＜ご注意＞

保証の請求には、必ず本証書をご提示ください。ご提示なき場合は保証しかねる場合があります。

ご使用の前に取扱説明書をよく読んでください。

※アスベストや危険粉塵を含む環境や放射線に被爆したおそれのある環境で使用もしくは保管された機械は、修理者の健康を害するおそれがあるため、修理はお受けできません。

わからない事や、故障したら

●ご使用の微酸性電解水噴霧装置についてわからない事や故障が生じた時に、
次の事を確認の上、販売店又は、弊社までお問い合わせください。

（1）型式名と機番　（2）ご使用状況（どんな時に）　（3）ご使用時間

（4）故障状況（水を吸わない、圧力が上がらない、モータが始動しない等）

微酸性電解水噴霧装置（オプション）
保　証　書

このたびは微酸性電解水噴霧装置をお買い上げいただきまして、ありがとうございました。
下記記載の製品について本書記載内容（17 ページ記載）で保証いたします。なお、この
保証書は日本国内で使用される場合に適用いたします。

機種・品番		SFA-210
保証期間		製品引渡し日より起算し１年間または 1000h に達するまで
納入年月日		平成　　　年　　　月　　　日
お客様	ご住所	
	お名前	
	電話番号	
納入店名	住所・店名 電話　　　(　　　)	

MEMO

MEMO

スーパー工業株式会社

本社・大阪営業所	大阪府摂津市鳥飼本町 5 丁目 3-7
〒566-0052	TEL(072)653-2721　FAX(072)653-2354
大　阪　工　場	大阪府摂津市鳥飼本町 2 丁目 2-48
〒566-0052	TEL(072)654-3990　FAX(072)653-2912
東　京　営　業　所	東京都江戸川区中央 4 丁目 15-13
〒132-0021	TEL(03)3653-2411　FAX(03)3653-2420
名古屋営業所	愛知県名古屋市緑区野末町 208
〒458-0915	TEL(052)626-3701　FAX(052)626-3702
札　幌　営　業　所	札幌市白石区菊水 7 条 1 丁目 1-24
〒003-0807	TEL(011)823-3661　FAX(011)823-3666
福　岡　営　業　所	福岡県粕屋郡志免町別府北 3 丁目 5-8
〒811-2205	TEL(092)622-6273　FAX(092)622-6279
サービス工場	大阪府摂津市鳥飼本町 5 丁目 1-7
〒566-0052	TEL(072)653-2721　FAX(072)653-2354
沖　縄　駐　在　所	沖縄県那覇市首里当蔵町 1-18-3
〒903-0812	TEL(098)887-0089　FAX(098)887-0089

http://www.super-ace.co.jp　E-mail:info@super-ace.co.jp